

親子で船橋漁港の見学と三番瀬・東京湾クルージング！

【支援金確定額：101,911円 支援率：50%】

記入日：平成25年（2013年）4月1日

■どのような活動をしている団体ですか？

私たちは出来るだけ多くの市民、企業、大学、行政などに参加を呼びかけ、東京湾に僅かに残された三番瀬の豊かな自然環境を保全するため、ラムサール条約に登録することを目的として活動しています。

具体的には年間の行動計画を基に市の行事にも参加し、勉強会・観察会（ふなばし三番瀬海浜公園）・シンポジウム・写真展・料理教室等を開催しています。市民の皆様の声を署名用紙に託した署名活動も行っています。



三番瀬・東京湾クルージングに出発！

■支援金をどのように活用されましたか？

24年度は多くの市民に三番瀬の魅力を知っていただきたく、2回（5月・9月）実施する予定でしたが、4月中旬ごろ、各報道機関から東京湾へ流入する江戸川はじめ、各河川の放射能汚染が伝えられたために、5月を中止し、各機関で放射能測定不検出になった、9月に実施しました。

具体的には、

- ・会場は船橋漁業協同組合冷蔵庫棟と周辺をお借りし、三番瀬の生き物の写真や三番瀬カレンダーをパネル展示し、船橋漁港で水揚げされたばかりの魚を並べました。
- ・今回初めての試みとして、親子で「お魚の捌き方教室」を開催しました。
- ・前日からプロの料理人の指導の基にスタッフで作った、三番瀬の食文化の三番瀬シーフードカレーを、漁港を眺めながら味わっていただきました。
- ・三番瀬・東京湾クルージングでは貝殻島上陸し、「しらせ」・海苔ひびや飛び跳ねる魚等を間近に見学し、船上で船長や漁師からの説明がありました。



親子で魚の捌き方を体験！

■事業を実施して、どのような成果がありましたか？

この事業を実施し、子ども達や市民が五感で自然豊かな海・三番瀬の重要性を理解していただく事が、団体の目標実現に向けての活動であることを実感しました。

■今後の活動の抱負について

お魚の捌き方教室では、お魚なんて触れないと言っていた子ども達が、触って、捌いて、「もっとやりたい」と真剣な眼差しで言っていたことが印象的でした。今後の活動は海・三番瀬が身近に感じられ、目に見えるわかりやすい形で三番瀬の自然を体験し、普段学校や家庭で出来ない事業を展開していきたいと思いました。

■問い合わせ先：事務局 渡辺 優子（わたなべ ゆうこ）

TEL：047-422-0772

E-mail：yuko-lapislazzuli25@nifty.com